

事務事業マネジメントシート (兼) 予算編成資料・実施計画資料

Main project information table including: 事務事業名 (口座振替データ入力事務), 基本政策 (情報と連携の都市づくり), 政策 (行財政改革の推進), 施策 (財政の健全化の推進), 事業期間 (単年度のみ), 所属部局 (総務部), 所属課室 (収税対策課), 所属担当 (管理担当), 予算科目 (会計 01 一般 02 02 01 020 06), 事業区分 (国の制度による義務的事業, 県の制度による義務的事業, 市の制度による義務的事業, 義務化されている協議会等の負担金), 法令根拠 (南アルプス市財務規則, 地方自治法施行令, 南アルプス市市税等預金口座振替収納事務取扱要綱), 事業費の主な内訳 (項目: 消耗品費, 印刷製本費, 通信運搬費, 手数料; 金額: 21, 254, 42, 1,818; 計: 2,135).

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

Activity and objective table: ① 活動 (24年度活動実績, 25年度活動予定), ② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等 (納税義務者及び納付者), ③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか) (納付のたびに金融機関に向向く必要がなくなり、時間の節約ができるのと同時に税金、料金の納め忘れも無くなる。これにより収納率の更なる向上が見込める。), ④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか) (市の納付書発送事務が省略でき事務の簡素化ができるのと同時に、現年収入の確保、収納率向上、手数料の軽減(対コンビニ比較)もはかることができる。)

Indicator table: ⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない (名称: 広報誌、ホームページへの掲載, 単位: 回数; 名称: 口座振替依頼書の同封, 単位: 回数), ⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (名称: 納税義務者及び納付者, 単位: 人数), ⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない (名称: 口座振替依頼件数, 単位: 件数), ⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない (名称: 収納率, 単位: %).

Cost and indicator table: (2) 事業費・指標の推移 (Table with columns for 23年度, 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 最終年度). Rows include: 年間トータルコスト (国庫支出金, 県支出金, 地芳債, その他, 一般財源, 事業費計(A), 正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B), (A)+(B)), 活動指標 (回数), 対象指標 (人数), 成果指標 (件数), 上位成果指標 (%).

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

Context and opinion table: ① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか? (合併前から収納率向上、納税者の利便性を目的に開始された。), ② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は? (後期高齢者医療保険料制度の移行に伴い、国民健康保険税加入者について減少しているが、それをふまえても20年度を一番底にして21年度以降は回復傾向にある。), ③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか? (企業局より従前の依頼書と上水道の依頼書を一緒にしてほしい旨の要望がある。)

(4) 改革改善の取り組み状況

Improvement table: ① 改革改善の取り組み実施は? (取り組みしている =>【内容!】 / 取り組みしていない =>【理由!】), ② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由) (昨年から検討していたが、やはり口座異動は職員が一人で責任をもって異動をかけるというのではなく別の職員が必ずチェックをして誤入力等を未然を防ぐよう4月から実施している。), ③ H 24年度に実施した改革改善の内容 (依頼書の発注部数を各課の分を取りまとめ大量発注することによりコスト削減をした。)

事務事業名	口座振替データ入力事務	所属部	総務部	所属課	収税対策課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 収納率の向上、安定的な税収確保に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 外部委託の場合、異動データに今以上のタイムラグが発生してしまうため納税者にとって不都合な場合が想定される。また、賦課情報の閲覧や納付書発送業務との連携も必要となるため、現状では市側で行なうことが好ましいと考えられる。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 口座振替収納が最も収納率が上がるための手段である。今後もより収納率を上げていくためには、維持継続は必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 口座登録は死亡など自然的減少があるため、新規の登録者を増加させる努力が必要。平成24年度は口座振替PRをCATVや銀行に出向いて行った。今後も口座振替の利便性を周知していくことで、収納率がより一層向上していくよう、PR等をしてい
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 納付書納付だけでは、確実に収納率は低下する。現実的ではない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 依頼書の大量発生によるコストダウン
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在は、職員がほぼ単独で業務を遂行している。これ以上の削減は無理である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 納税者の希望によるものなので、受益者負担の偏重はみられない。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	口座振替は、納期内納付により、納税者や市にとって大変有効な納付方法であり、徴収率の向上に貢献している。 こうしたことから、納付書による納税者に対してはあらゆる機会を捉え啓蒙し、理解を深めてもらうことにより口座振替制度の利用拡大を図っていく。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① H23年度新規事業である口座振替受付サービス事業の活用 ② 課税部署による口座振替推進	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑤	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑤																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 課税部署職員の意識改革																						